



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきき 自分から~

平成29年6月1日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.3

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

子どもたちの「よさ」と「成長」

春から初夏に飛んでしまったように季節が一気に移り変わり、最近暑い毎日が続いています。

家庭訪問、修学旅行、避難訓練等あわただしい5月も終わり、いよいよ6月です。雨の多い季節ではありますが、落ち着いて取り組むことのできる月です。季節の移ろいを感じながら、子どもたちとともにじっくりと学習に取り組み、充実した6月にしたいと思います。



【6年生 大仏殿前で】

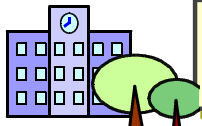
5月11日～12日は、子どもたちが楽しみにしている修学旅行でした。

由良川小学校6年生と一緒に奈良公園を回り、昼食を食べた後の買い物をする時間のことです。しばらくの間買い物をしていた子どもたちが、ふと店内から見えなくなりました。どこへ行ったんだろう、と思って捜すと、子どもたちは全員、昼食を食べたテーブルで筆記用具を出してお小遣い帳を付けているのです。担任に尋ねると、そのような指示はしていない、とのことでした。多分誰かが、お小遣いを付けた方がいいと思って付け始めた様子を見て、他のみんなも付け始めたのでしよう。自分たちで考え、先を見たよき行動ができることに感心しました。

また、ホテルで一泊した次の日の朝、出発前に部屋の点検をした時のことです。見ると、どの部屋もまるで誰も使っていなかったかのようにすっきりと片付いているのです。ベッドの布団は当然のこと、机の上の紙類は少しもゆがまずに真ん中に置かれており、洗面所の物もすべて整然と並べられています。担任から整頓の指示があつたにしろ、どの子どもたちの中にも、ここまできちんと整頓する規範意識が育っていることに驚きました。それに比べ、大人たちの部屋を見ると…。それはご想像にお任せしましょう。

その他、各見学場所において、集合時刻を守ることに、怪我無く落ち着いて行動すること、しっかりと話を聞き学習すること、由良川小学校の友達とも協力すること等多くの約束事がありましたが、すべてにおいて岡田小学校の代表として立派な態度を見せてくれました。ここでもまた、子どもたちの「よさ」と「成長」を感じることができました。

今後、どの学年の子どもたちの力もさらに伸ばすため、毎日全力で指導に当たります。



小中一貫で子どもを育てる② 客観的に本校の子どもを見る

学校の中だけで学習していると、日常を「普通」に感じ、子どもたちの実態が見えにくいものです。しかし、小中一貫教育を利用して由良川小学校の子どもたちと一緒に学習をすると、

本校の子どもたちの「よさ」と「課題」がよく見えます。また、地域や外部の方々に授業に入っただけ、出前授業をお世話になると、それが普段から培っている子どもたちのコミュニケーション力を発揮する場となり、自分たちを顧みて反省することができます。

幸い本校においては、そのような学習をする機会が多くあります。子どもたちだけでなく、教師自身も客観的に子どもを見て、今後の指導の在り方を考えるよい機会にしたいと考えています。今後とも忌憚のないご意見をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



【6年生 ディベートの授業】

校長 羽賀 玲子 教職員一同